

## [008]ポリモルフィア表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/7347997>

---

出版情報：ポリモルフィア. 8, 2023-03-24. Office for the Promotion of Gender Equality, Kyushu University  
バージョン：  
権利関係：

## 総評

# 2021 年度ジェンダー研究に取り組む学生への研究助成プログラム

野々村淑子

九州大学男女共同参画推進室 学生教育等部門長  
人間環境学研究院 教授

2010年度から始まった学生対象のジェンダー研究助成制度は、2021年度で12年目を迎え、のべ132名が採択された。このようなジェンダーの視点を持つ研究を促進することを目的とした学生支援の活動は、国内では珍しい取り組みとして評価されている。公募は、夏休み期間に調査ができるように4月上旬に開始し、助成の対象は学部生、博士前期・後期課程の学生である。男女共同参画推進室学生教育等部門の教員の審査により、助成対象者と金額が決定される。公募に際し、学内の広報はポスターの掲示だけでなく、学生ポータルやホームページによる情報提供も行っている。ポスターは、制度の開始初年度から学生教育等部門の室員であった、芸術工学研究院の尾方義人准教授に依頼した。視覚的にも学生たちの記憶に定着するよう、周知を拡げる目的で、デザイン自体に変更は加えず、毎年同じデザインのポスターを掲載することになっている。

これまでに助成対象になった研究の領域としては、経済、芸術、医療、介護メディア、防災、臨床心理、政治、スポーツ、文学、歴史、建築、発達心理、漫画、労働、教育が挙げられ、対象領域は年々広範囲に広がってきている。本助成は他分野から応募を募り、学生の教育を目的としているため、できるだけ多くの研究計画を採用することに合意してきた。学生教育等部門の教員全員で審査しており、研究計画の審査基準をより明確にし、審査について時間をかけて配分額を決定している。また、昨年度の新型コロナ感染症拡大のため出張時の安全管理について強化し、今年度は研究倫理審査を開始した。

2021年度の応募者は20名で、採択者17名の内訳は、博士課程3名、修士課程11名、学部生3名であり、所属は人間環境学府、地球社会統合科学府、芸術工学府、歯学府、法学府、文学部等から応募があった。研究テーマの変更により辞退した学生は1名だった。今年度は公募要項や評価要項、申請書の内容を改訂し、より研究計画が明確に記述されるよう工夫をした。

2022年2月22日Zoomを用いて2021年度の採択者による「ジェンダー研究に取り組む学生への研究助成プログラム令和2年度報告会」を開催した。報告会では、歴史や教育、労働、文化や社会、セクシュアリティ、LGBTや災害などのテーマについて、日本のみならず、ドイツ、ベトナムや中国など、多様な場をフィールドとした研究についての発表がなされた。

本報告会は、ジェンダーやセクシュアリティの視点から異分野の学生がそれぞれのアプローチで研究を報告することによって、相互に刺激し合い、より深い洞察、あらたな研究テーマの発見に繋がっていくことが期待されている。今回の報告会でも、参加した教員、学生との間で英語での議論を含む活発な質疑応答と意見交換が行われ、参加者からは個々の研究に対する示唆的な助言があった。ここ数年はオンライン開催のため、報告会の後で行っていた発表者や教員等が参加する交流会が見送られている。短時間ではあるが、質疑応答の後での意見交換や懇談などの場から、専門分野を越えたジェンダー研究の状況や展望などについて新しい知見が生まれるかもしれない。そのような機会をまたもてるように、なんらかの工夫をしていくことも必要と思われる。

なお、この研究助成プログラムは、採択者の研究成果を3月末に報告書にまとめており、2021年度の実施報告者と研究テーマは下記の通りである。

#### 2021年度実施報告者と研究テーマ一覧

| 番号 | 名前                  | 所属             | 学年         | タイトル                                                                               |
|----|---------------------|----------------|------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 松本 大輝               | 文学部            | B 4        | 「筋肉的キリスト教 Muscular Christianity」とパブリックスクール                                         |
| 2  | 照本 香奈               | 文学部            | B 4        | ファンタジー RPG におけるジェンダー・クィア・種族                                                        |
| 3  | 松口 優花               | 人文科学府          | M 1        | ドイツ「同性愛者」にとっての第一次世界大戦～『友情 (Die Freundschaft)』を手がかりに～                               |
| 4  | 深水 文乃               | 人間環境学府         | M 1        | 腐女子のフェミニズム                                                                         |
| 5  | 閻 浩                 | 法学府            | M 1        | 日本における LGBT 労働判例と法規制の可能性に関する検討                                                     |
| 6  | 譚 曇                 | 芸術工学府          | M 1        | シェイクスピア劇ジェンダー構造のインターテクスチュアリティ～オフィーリアとガードルード～                                       |
| 7  | MI SHASHA           | 芸術工学府          | M 1        | DV 被害者のエンパワメントと社会的認知を目指すアートプロジェクト                                                  |
| 8  | グレイ・リリー・アラーナ        | 人文科学府          | M 2        | 合気道と女性：伝達と課題                                                                       |
| 9  | Chan Yat Yi Bethany | 人文科学府          | M 2        | Outside the Academy: Sinitic Education of Court Women in the Early Heian Period    |
| 10 | 松下 万弥               | 人文科学府          | M 2        | 19 世紀のオスマン帝国におけるハレムの女性の諸相—女性自身による回想録から                                             |
| 11 | 井口 由貴               | 人間環境学府         | M 2        | 19 世紀末マンチェスター・ソルフォード衛生協会による「家庭生活」の伝授                                               |
| 12 | 管 加帆                | 芸術工学府          | M 2        | 蜷川幸雄演出シェイクスピア劇における女性表象                                                             |
| 13 | 疋田 睦<br>寺尾 知華       | 芸術工学府<br>芸術工学部 | M 2<br>B 4 | ひとがた（人型 人形）から考えるジェンダーとデザイン                                                         |
| 14 | 水谷 亮介               | 人文科学府          | D 1        | 総称文と性差別——総称文のどこが悪いのか                                                               |
| 15 | JIN YIMENG          | システム生命科学府      | D 3        | the Role of Foreign Language Effect on Ethical Judgement and its Gender Difference |
| 16 | 吉村 美路               | 人間環境学府         | D 3        | 性別役割認識におけるジェンダーギャップの現状について—女性の就業への影響の視点から—                                         |

注) 所属および学年は、令和 4 年 2 月時点